

2011年10月4日
株式会社日立ソリューションズ

日立ソリューションズが中学生向けに「情報モラル教育」を実施 有志社員が近隣中学校でIT授業

株式会社日立ソリューションズ（本社：東京都品川区、取締役社長：林 雅博／以下、日立ソリューションズ）は、2011年9月8日と9月15日の2回にわたり、品川区立東海中学校にて、7年生*を対象にIT企業による情報モラル教育を実施しました。日立ソリューションズは、吹奏楽団の定期演奏会での同校吹奏楽部との共演など、東海中学校とは日頃から積極的に連携した活動を行っています。

*品川区では小中一貫教育を推進しており、7年生は中学校1年生にあたる。

今年で4回目となる本授業は、東海中学校の市民科学習の一環であり、『「情報の光と影」～IT企業の立場から見た情報モラル教育～』の主題のもと、めまぐるしく進化を遂げている情報産業社会における「光と影」の部分に焦点を当て、同社の電子黒板「StarBoard（スターボード）」等を使用して行われました。

第一部の8日の授業では、「ITとは何か」というテーマで、「情報を伝達する道具」であるITの便利さ（光）について理解を促し、第二部の15日では、当社の講師が擬似的にインターネット掲示板を利用できる環境を同校のパソコン教室に準備し、実際に掲示板への書き込みをするというワークショップを通じてITの便利さと背中合わせの危険や怖さ（影）について学んでもらいました。

日立ソリューションズは、これらの授業を通じて、情報化社会における問題をIT企業の立場から中学生に伝えることで、生徒一人ひとりの情報モラルの確立を目指しており、学校裏サイトなど子供たちが直面している深刻な問題に対し、自己防衛能力を身に付けてもらうと同時に、「思いやり」をもって人と人とのコミュニケーションにITを役立ててもらうことを期待しています。

また、今回の情報モラル教育以外でも、東海中学校の9年生の技術科選択科目として、パソコンやロボットを用いた簡単なプログラミングを体験する「IT技術の基礎学習」を提供しており、講師を同社の教育部インストラクターと有志社員が務めています。

日立ソリューションズは、今後も本業であるITを活かし、学校教育の充実をはじめ、さまざまな社会課題の解決に貢献していきます。

■ 授業の様子



第一部:「情報の光」

電子黒板を使用しての授業風景



第二部:「情報の影」

実際に掲示板へ書き込みをする生徒たち

<本件に関するお問い合わせ先>

担当部署: コーポレート・コミュニケーション本部 CSR推進部

担当者: 高野

Tel: 03-5780-6450 (ダイヤルイン) E-mail: csr-contact@hitachi-solutions.com

<報道機関からのお問い合わせ先>

担当部署: コーポレート・コミュニケーション本部 広報・宣伝部

担当者: 廣納(ひろのう)、鈴木

Tel: 03-5479-5013 Fax: 03-5780-6455 E-mail: koho@hitachi-solutions.com

日立ソリューションズは、お客様の業務ライフサイクルにわたり、オンプレミス・クラウド連携を始めとする豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する『ハイブリッドインテグレーション』を実現します。

※ 「StarBoard」は、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
本社別館 〒108-8250 東京都港区港南二丁目18番1号
Tel: 03-5780-2111 ホームページ: <http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ